

令和5年度 新規採用職員等辞令交付式 訓示

東海村長の山田です。

改めて、皆さんの入庁を心から歓迎いたします。

今、辞令を受け取って、大変緊張していることと思いますが、まずは、職場の雰囲気慣れることが大事です。自分から積極的に職場の人に話しかけるようにしてください。そして、ここにいる入庁同期の職員は、今後も、お互いを助け合える仲間となりますから、大切にしましょう。

さて、コロナ対応も、やっと落ち着いてきたところではありますが、自治体を取り巻く環境としては、人口減少問題をはじめとして多くの課題を抱えている状況にあります。皆さんは、それぞれ与えられた職務を適切に対処することが肝要ですが、一方で、役場内の動きにも、常に関心を持ってください。

また、本村は、原子力関連事業者も多く、災害などへの危機管理対応は、役場職員として最も重要な業務となりますので、緊張感を持って対応願います。

私は、公務員の中でも、住民に一番身近な所で仕事をしている市町村職員が、一番大変だろうなと感じています。近年は、住民ニーズも多様化しており、現場の最前線にいる役場職員には、いろいろな対応力が求められてきます。前例にとられることなく、失敗を恐れず、目の前の仕事にチャレンジしてください。

また、今日から、皆さんは「東海村役場」という看板を常に背負っているということを自覚してください。村民から見れば、ベテラン職員だろうが新規採用職員だろうが関係ありません。目の前にいる職員の言葉や行動が、役場としての考えや判断だと思われることもありますので、十分に注意してください。

なお、プライベートにおいても、公務員に対する見方は厳しいということも忘れないでください。

明日、皆さんの研修の中で、村長講和がありますので、そこで詳しくお話したいと思いますが、今日は役場職員としての心構えを一つだけ言っておきます。

“住民の方々とのコミュニケーションを大切にすること”

役場の仕事は、法律や条例、規則といった根拠に基づいて行われています。しかしながら、住民の皆さんは困っている時に役場に相談に来るわけですから、「規則でこうなっていますから」だけでは伝わりません。まずは、話をよく聞くことが大事です。そのうえで、何が出来るかを一緒に考えてください。

今後の皆さんの活躍を大いに期待しています。以上、訓示といたします。